

2022年4月21日 第60期定時株主総会

主な質疑応答

(内容につきましては、ご理解いただきやすいよう部分的に加筆・修正しております。)

Q. グループ人員比率に関して、HV:WV:PV=2:6:2を目指す意図は何か。

売上総利益率に関して、HVの方が、WV、PVより低いのであれば、WV、PVの人員比率を高めた方が良いのではないかと。

A. HV、WV、PVがスタートした時点の人員比率を考慮した時に、目標数値としてHV:WV:PV=2:6:2が、実態に即していたためです。また、当社の過去の景気変動の経験から、最上流工程であるHV、中流工程であるWV、下流工程であるPVのリスクを考慮した時に、HV、WVの上・中流工程に人員比率をウェイトした方が景気変動リスクを受けにくいことから、このような人員比率を目指しております。結果的に、HV、WVの人員比率が大きい程、売上高、利益につながると考えております。

HV、WV、PVで求められるスキル要件がそれぞれ異なり、採用が困難な順は、HV→WV→PVとなります。HV等の上流工程に対応できる人材の確保を考慮した時に、様々な社内的な施策を講じて、応募者から魅力ある制度づくりが必要となりました。

その中で、HVは他のグループと異なる賃金規程を設けております。顧客との契約単価が本人の給与に連動する成果報酬型の給与体系とし、若年層でも比較的、高い年収の獲得が可能な制度設計となっております。そこに魅力を感じていただいた応募者を多く採用していくための施策となります。HVは、結果的に売上総利益率はWV、PVよりも低くなりますが、一人当たりの技術者単価が高いため、売上総利益の額については他のグループと遜色がない実績であります。

Q. 1月決算の理由は何か。

A. 創業者が1月決算は様々なメリットがあると判断したことを現在も踏襲しております。

以上